


氏名:	妹尾 浩	
所属先:	京都大学大学院医学研究科 消化器内科学	
Email:	seno@kuhp.kyoto-u.ac.jp	
最終学位:	京都大学博士（医学）	
略歴:	1991 京都大学医学部卒 2001 京都大学大学院医学研究科 修了 2005 米国ワシントン大学医学部研究員 2008 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学 講師 2015 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学 教授	
研究分野:	消化器病学、腫瘍生物学	

膵がん、胆道がんの自然史を再現するモデル構築と治療への展開

妹尾浩¹, 福田晃久¹

¹京都大学大学院医学研究科 消化器内科学

膵がん、胆道がんは、代表的な難治がんであり、かつ日本に比較的多いことから、その克服には高い社会的要請があります。近年、膵がん、胆道がんの前がん病変として、PanIN、BilIN、IPMN、IPNB など様々な病態が提唱され、その発生と進展の過程、すなわちがんの自然史が少しずつ明らかになってきました。

私たちは、様々なアプローチで膵がん、胆道がんの研究に取り組んできました。まず、膵、胆道に前がん病変、進行がんを生じる複数の遺伝子改変マウスを樹立しました。また、ヒトの膵がん、胆道がん（あるいは前がん病変）から組織を効率よく採取できる内視鏡デバイスを開発し、系統的にヒトサンプルを採取して、網羅的解析を行うことも可能になりつつあります。さらに、それらの検体からオルガノイドの樹立を試みています。

本セッションでは、膵がん、胆道がんに関するイントロダクションの後、その自然史再現、および新規治療シーズ探索の試みについて、ご紹介したいと思います。そして、今後どのように研究を発展させれば良いか、ご教示をいただきたく願っています。